

十勝から死亡労働災害をなくしましょう

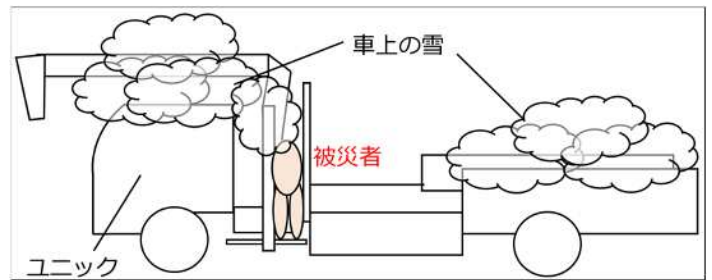
令和7年2月、十勝管内で死亡労働災害が立て続けに発生し3人もの尊い人命が失われました。1か月に3件の死亡労働災害が発生したのは平成30年7月以来のこと。まことに憂慮すべき事態であり、死亡労働災害の撲滅が急務です。

建設業の死亡労働災害

災害概要（2事例）

被災者は、新築工事現場において、ブルーシートで覆われた開口部の真下の床面（高さ5.8m）で倒れている状態で発見されました。

被災者は、移動式クレーンに積もった雪の除雪を行っていましたが、荷台とアウトリガーとの間にはさまり意識を失った状態で発見されました。



同種災害撲滅のために

- 墜落制止用器具の使用を徹底すること。（労働者も必ず使用すること。）
- 開口部の墜落防止措置や、立入禁止措置を講じること。
- 立入禁止箇所の確実な伝達をすること。



帯広監督署HP
重点取組 建設業

同種災害撲滅のために

- 除雪等の冬季特有の作業に係る危険性を予め予測・把握すること。
- 作業の性質に沿って、用具や作業方法の選定・検討を行うこと。
- 滑り等の転倒災害防止を徹底すること。



北海道労働局HP
冬季の労働災害防止について



建設業の墜落・転落災害防止対策や冬季労働災害防止運動等については、帯広監督署HP及び北海道労働局HP、リーフレット等をご確認下さい。



林業の死亡労働災害

チェーンソーで伐木作業を行っていた被災者が、伐倒木の付近で倒れている状態で発見されました。

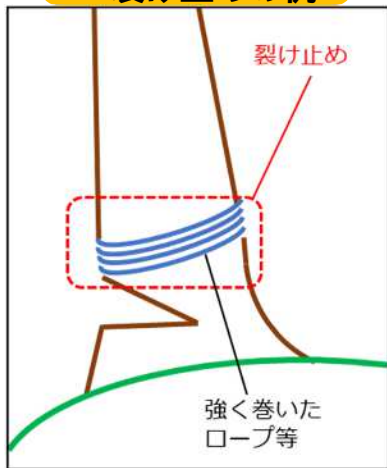
同種災害撲滅のために

受け口が小さすぎる場合、伐倒木の裂け上がり（バーバージェア現象）が発生しやすくなります。

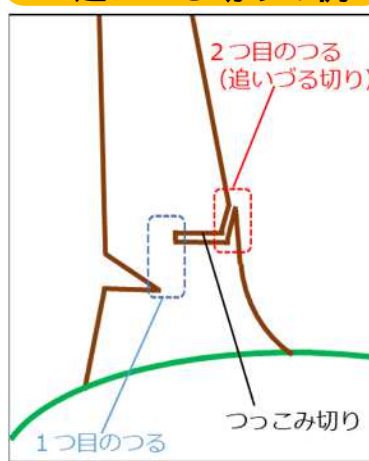
また、偏心木の伐倒の際は、十分な大きさの受け口を作っても裂け上がりが発生しやすくなります。受け口の上にロープ等を巻き付ける「裂け止め」や、つるを2箇所設ける「追いつる切り」等が有効です。林業における労働災害防止対策については、帯広監督署HP及びリーフレット等をご確認下さい。



裂け止めの例



追いつる切りの例



Check!

帯広監督署HP



重点取組 林業

とちち労基通信

当署と帯広労働基準協会からの定期的な情報発信により、各会社の安全衛生の取組等を掲載し、安全衛生意識の向上と労働災害減少を目指すものです。



とちち労基通信



管内の安全衛生に係る取組等をご確認いただけます

労務管理、安全衛生情報を随時掲載!

帯広労働基準監督署からのお知らせ

検索



参考資料をダウンロード!